

一般社団法人ピースピースプロジェクト

活動実績報告書

Published in December 2020

子ども達が安心して暮らせる地球を創る



PEACE
PIECE
PROJECT



<https://peacepieceproject.com>

 [peacepieceproject](https://facebook.com/peacepieceproject)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

紛争のある国や地域で暮らす子どもたちは約2億5000万人。
 たくさん子ども達が争いごとや暴力、環境破壊で命を奪われたり、
 家族を失うなどのつらく悲しい思いをしています。

ピースピースプロジェクトは、
 世界各地の子ども達と「子ども世界平和サミット」を主催し、
 子ども達が安心して暮らせる地球を創ることで、世界平和実現を目指します。

すべての活動は、国連が推進する人間、地球及び繁栄のための行動計画
 「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献しています。



**ピースピースプロジェクトは
平和を創る子ども達を育て
世界平和を実現します**

「ピースピースプロジェクト」という名前とロゴには、
「ひとりひとりの小さな愛のかけら(Piece)が集まれば、
大きな平和(Peace)を創りだすことができる」
という意味を込めています。

会社概要

商 号	一般社団法人ピースピースプロジェクト
設 立	2015年7月15日 ※2009年5月より活動、2015年7月法人化
代 表 者	代表理事 多田 多延子（ただ たえこ）
事業概要	世界平和実現プロジェクト - 子ども世界平和サミット™ - 平和学習の推進 平和学習の教科書普及
所 在 地	広島市南区出汐1-17-25
Tel/Fax	(082)253-0693 (FAX:(082)253-0548) ※平日9時00分～18時00分
Mail	info@peacepieceproject.com
HP	https://peacepieceproject.com
認定	世界一大きい折り鶴ギネス記録保持

ピースピースプロジェクトとは

Mission ピースピースプロジェクトの存在意義、使命

世界平和の実現 ～子ども達が安心して暮らせる地球を創る～

2009年の活動開始から、これまでに、

- ・「世界一大きな折り鶴」でギネス記録を達成
- ・広島にオリンピックを招致する応援隊を結成し、60万を超える署名を市長に提出
- ・日本の復興の歴史から、世界平和の創り方を伝える漫画を原作出版
- ・外務省後援『子ども世界平和サミット™』の主催

など、本当にたくさん子ども達と活動に取り組むことができました。
ここに多くの皆様からのご厚志に対し、心より感謝を申し上げます。

ところで、一言で「世界平和」と聞いても、
具体的なイメージが湧かない方もいらっしゃるかもしれません。
第二次世界大戦後、長い月日が経つにつれ、戦争があった当時の事を直接体験して
復興を記憶されている方は非常に少なくなってきました。
私たちは、今の平和が多くの人達の努力により維持されているという事や、
先人達が、どのように平和を築いてきたのかを学ばなければなりません。

世界では、約2億5000万人の子ども達が紛争のある国や地域で暮らしています。
どんな環境に生まれ育った子どもであっても、
子ども達が安心して暮らせる地球を創ることは、非常に緊急かつ重要な課題です。

私たちピースピースプロジェクトは、
世界平和実現とは、子ども達が安心して暮らせる地球を創ることとし、
その実現のために、平和を創る子ども達を育てています。

Vision 世界平和実現のためにすべき目標

平和を創る子ども達を育てる

現状の平和学習は、戦争の歴史を学ぶ機会がありますが、平和の創り方を学ぶ機会がありません。

社会科の授業で戦争の歴史を学んだり、国語科の授業で体験小説や詩を取り扱うだけでなく、
「どうやって平和を創るのか」を具体的に考える学びの場を創るため、
平和学習用の本を多言語で出版し、教育現場で活用いただいたり、
各国元首が集う衆議院議員会館国際会議室で
平和を創る方法をスピーチする「子ども世界平和サミット」を主催しております。

心身ともに発達する10代の重要な時期に、平和について学び考える体験をすることで、
普段から世界平和に対しての意識づけをし、平和を創る子ども達を育てて参ります。

事業内容

ピースピースプロジェクトは、世界平和実現とは、子ども達が安心して暮らせる地球を創ることとし、心身ともに発達する10代の重要な時期に、平和について学び考える体験をすることで、普段から世界平和に対しての意識づけをし、平和を創る子ども達を育てています。

子ども世界平和サミット™

- ・ 世界の子供達による平和スピーチ
- ・ 子供宣誓
- ・ オンライン配信

平和学習の推進

- ・ 平和学習の教科書づくり
- ・ 教育機関との連携、教科書無料配信、平和学習活用、学校訪問、講師

活動報告、サポーター募集

- ・ 国際的なサミットでのスピーチ、講演会
- ・ 活動周知や仲間づくりのためのイベント
- ・ 国際機関や要人の方々への活動報告

世界平和実現のために、平和を創る子ども達を育てております。

活動にご賛同いただけましたら、是非、子ども達の平和学習を応援する応援サポーターにご登録ください。

皆様のご参加をお待ちしております。

ギネス記録保持中・世界一巨大な折り鶴



平和記念資料館ご案内



街頭での署名活動



大人達と平和教育について考える



多田多延子 Taeko Tada

ピンク社長®

検索

「お逢いする人にもっと幸せになっていただきたい」と願いを込めて
365日ピンクの洋服を着続けて11年の「ピンク社長®」



- 広島生まれ、広島育ちの女性起業家
- 10歳の時、交通事故による脳内出血から奇跡の生還
生かされている感謝から、社会に役立つ起業家を志す
- ミスJRヒロシマの経験を基に18歳で起業し、
「ナレーターモデル」という新業態を確立
- NHKのパーソナリティやアナウンサーとしても活躍
- 1996年、株式会社ティーエスピーを設立（太陽光発電所の分譲仲介など地球益となる事業を推進）
- 2009年、ピースピースプロジェクトの活動開始。
世界一大きい折り鶴にチャレンジし、翌年ギネス世界記録に認定
- 2015年、戦後70年の節目、ピースピースプロジェクトを法人化。
漫画「キセキのヒロシマ」を原作出版し、2016年オバマ大統領からお礼状を賜る
- 2020年、外務省後援「子ども世界平和サミット」を主催

皆さま、いつも応援いただきましてありがとうございます。
一般社団法人ピースピースプロジェクト代表理事の多田多延子と申します。

これまで、「反戦」ではなく「平和」を継承したい、平和を創る青少年を育てたい。
という想いで、ピースピースプロジェクトの活動を始め、早いもので11年が経過致しました。

2020年の初め、私は、ひとつの目標を設定致しました。

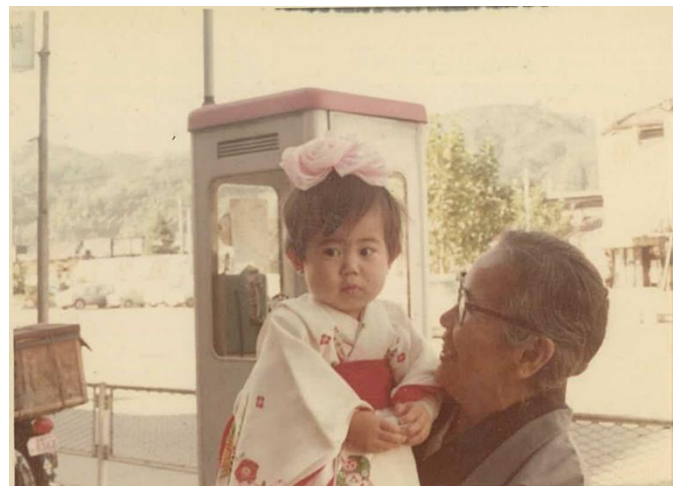
『戦後80年、大阪万博開催の2025年に、
100か国 1億人の子ども達と世界平和実現に向かって動き出す』
という壮大な目標です。

その第一歩として、2020年8月に、
外務省の後援で、第1回目『子ども世界平和サミット™』を主催致しました。
2025年、この子ども世界平和サミットの地球規模での開催に向けて、
ご一緒に活動してくださる仲間を募集しています。

生かされている感謝を形に表すため、社会に役立つ起業家を目指す。

私は、広島で生まれ、原爆ですべてを失った曾祖母が、
両親を亡くした幼い母を自らの力で育て
事業を再生した姿を見て育ちました。

10歳の時に、交通事故による脳内出血で瀕死となり、
生死の境をさまよい、生還致しました。
毎日隣の病室の方がうめき声をあげ亡くなっていく
緊急病棟の病室の中で、極限の死への恐怖を体験。
その後、死生観が変わり、
生かされている事を感謝するようになりました。
その感謝の証として、
社会に役立つ起業家を目指す事を決意致しました。



ヒロシマ復興の史実から、子ども達に平和の創り方を伝える。

高校生の時から、国内外の学生に平和記念公園を案内するボランティア活動に参加していました。しかし、どの資料も広島に被爆の悲惨さを伝えるものばかりで、平和学習に訪れた方々からは、「広島に来るとつらい原爆の歴史を思い出すから、もう広島に来たくない」と言われ、何度も悲しい経験を致しました。

さらには、広島に訪れたことが無い海外の方でさえ、「原爆のヒロシマ」というイメージを持たれており、私が広島出身であることを話すと、暗い顔をされたり、心配の言葉をかけられる事もあり、今でも広島は、放射能を含む「ブラックレイン」に象徴される「被爆地ヒロシマ」のままなのだと知り大きなショックを受けました。

広島は、がれきの中から見事に復興を遂げた、希望あふれる「復興都市」です。原爆の悲惨さだけを伝えるのではなく、復興の史実を伝えることで、世界平和の創り方を学ぶことができる街であると知って欲しいと願っていました。

ピースピースプロジェクトの活動開始から、「世界一大きな折り鶴」でギネス記録達成や広島へのオリンピック招致活動などの活動を経て、ついに、戦後70年の節目に、ピースピースプロジェクトを法人化致しました。

2014年から2020年にかけては、広島に復興を支えた曾祖母、祖母、母、女性たちの実話を描いた漫画「キセキのヒロシマ」を原作し、日本語、英語、フランス語版を出版。ノーベル平和賞を受賞された、オバマ元アメリカ大統領も漫画を読まれ、ホワイトハウスから「あなたの物語に感動しました」というお礼状を賜りました。

現在は、教育機関と連携して、漫画「キセキのヒロシマ」の平和学習活用や、子ども世界平和サミットの主催など、世界平和を創る子ども達を育てております。

活動にご賛同いただけましたら、応援サポーターにご登録いただき、子ども達の平和学習を応援いただけましたら光栄です。教育委員会・学校関係者のご紹介、講師のご依頼なども大歓迎でございます。

子ども達の未来が愛と平和に満ち溢れた世界になりますように。

多田多延子



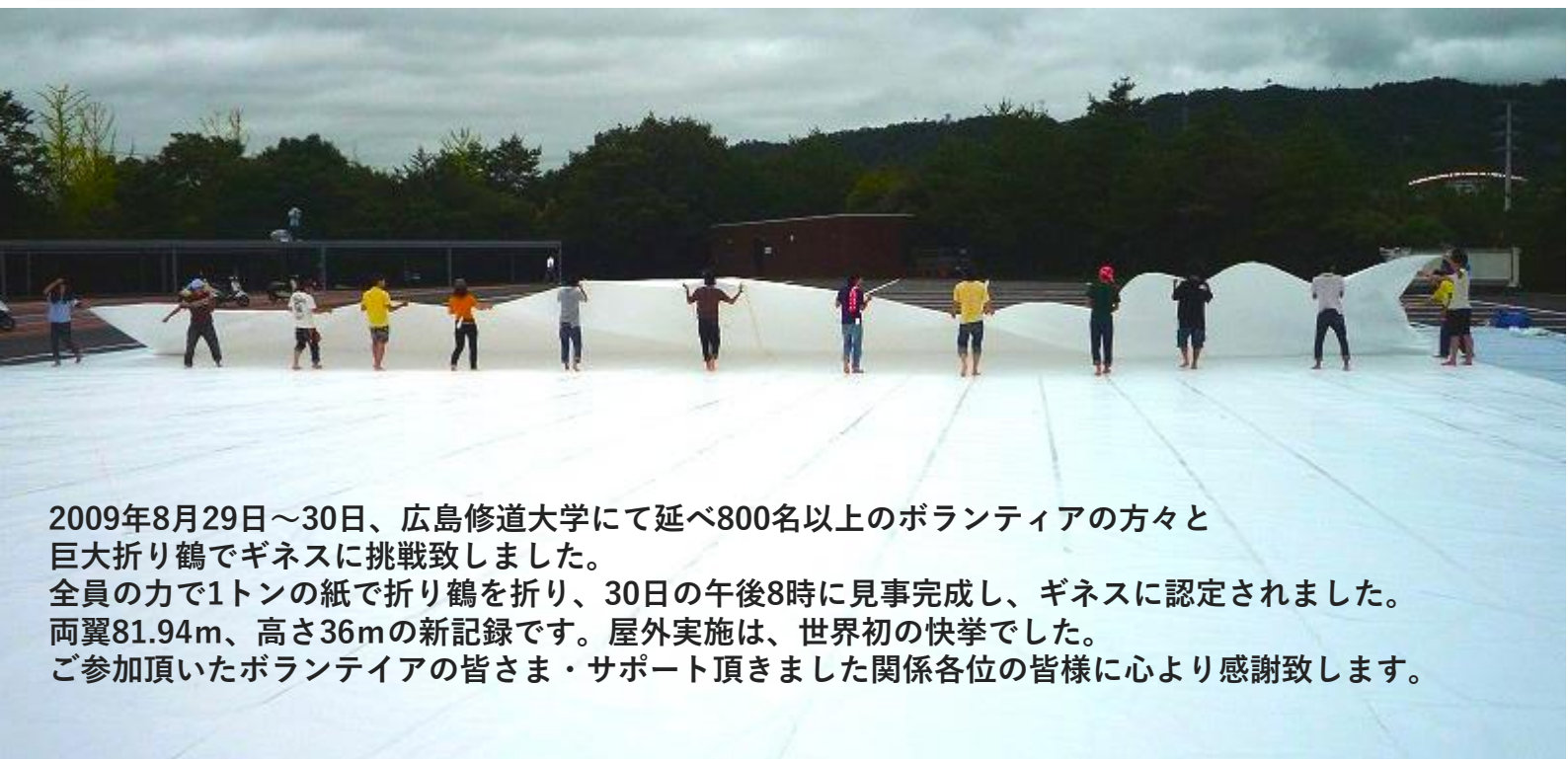
私が「ピンク社長®」になった理由

ピンクの洋服を着るきっかけとなったのは、中学生の時にアメリカの友人から「Taeko is in the Pink」と呼ばれたことがきっかけです。「in the Pink」の意味を聞くと、「幸せに満ちているって意味だよ」と教えてくれました。

色彩療法などでも活用されているピンクは、見るだけで、脳から幸せホルモンが分泌される色です。

マザーテレサが世界平和のためには、「帰って家族を大切にしてください」とおっしゃった言葉に感銘し、自らの実践として、2009年から、365日、毎日ピンクのお洋服を着て「お目にかかる方にもっと幸せになって頂きたい」と祈っていたところ、皆様より「ピンク社長」と愛称で呼びいただくようになりました。

ギネス記録 世界一大きい折り鶴



2009年8月29日～30日、広島修道大学にて延べ800名以上のボランティアの方々と巨大折り鶴でギネスに挑戦致しました。
全員の力で1トンの紙で折り鶴を折り、30日の午後8時に見事完成し、ギネスに認定されました。
両翼81.94m、高さ36mの新記録です。屋外実施は、世界初の快挙でした。
ご参加頂いたボランティアの皆さま・サポート頂きました関係各位の皆様にご心より感謝致します。



ヒロシマ・オリンピック応援隊（～2010年）

2010年2月、「2020広島オリンピック応援隊」を結成し、広島にオリンピックを招致するための署名活動を行いました。

2020 ヒロシマ オリンピック応援隊

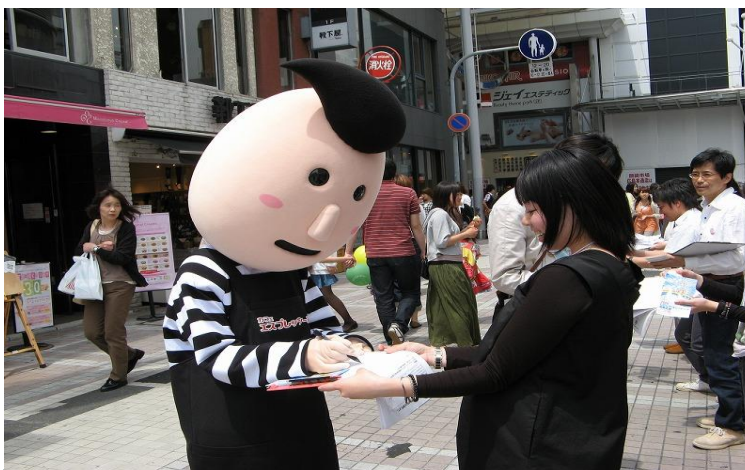
Peace Piece Project は、現在検討されている 2020 年ヒロシマ・オリンピック招致を応援しています。



オリンピックは、今から百数十年前、フランス人の『ピエール・ド・クーベルタン』により、スポーツを通し心身を調和的に発達させ、“世界の平和”に貢献することを願って設立されました。

「ならば、平和都市・広島で開催される意義があるのでは？」

そんな考えから、オリンピックの開催を通じ、広島から世界に“愛と平和”のメッセージを配信するため、ヒロシマ・オリンピック応援隊を発足させ、全国からご賛同頂き、総数603,186名の署名を広島市長に提出することができました。



子ども世界平和サミット™

外務省
後援

世界平和実現の方法を、世界各国の子ども達と一緒に考える。

子ども世界平和サミットでは、心身ともに発達する10代の重要な時期に、多国籍の子ども達と平和について学び考える体験を通し、国際協力への関心を高め、国際社会で世界平和実現のために活躍する力を育てます。

第1回目 外務省後援『子ども世界平和サミット』は、オンラインで実施。
子ども達が、「自分の想う平和とは?」「世界平和を創るアイデア」を考え、発表しました。



YouTube



●子ども参加者：72名 ●チャンネル登録者数：164名
●視聴回数：7,643回 ※集計期間：2020年4月12日～8月25日
<http://peacepieceproject.com/cwps-youtube>

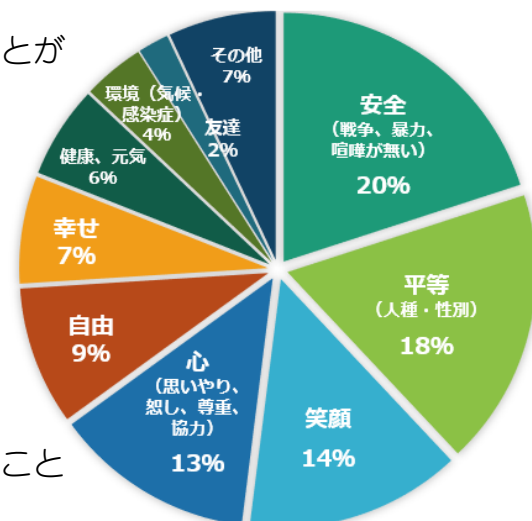
Q1. あなたにとっての平和とは何ですか？

安全で平等で、みんなが思いやりの心を持った笑顔あふれる自由な世界

- みんな仲良く笑顔でいること、元気いっぱい暮らせること
- 家族とご飯を食べたり、学校へ行ったり、友達と遊んだりすることが当たり前でできたり、小さなことでも笑い合えること
- 笑顔があふれ、ストレスが無い生活が送れること
- 暴力や気候変動が無く、誰もがお互いに平等で優しく、お互いにアイデアを共有し合える世界



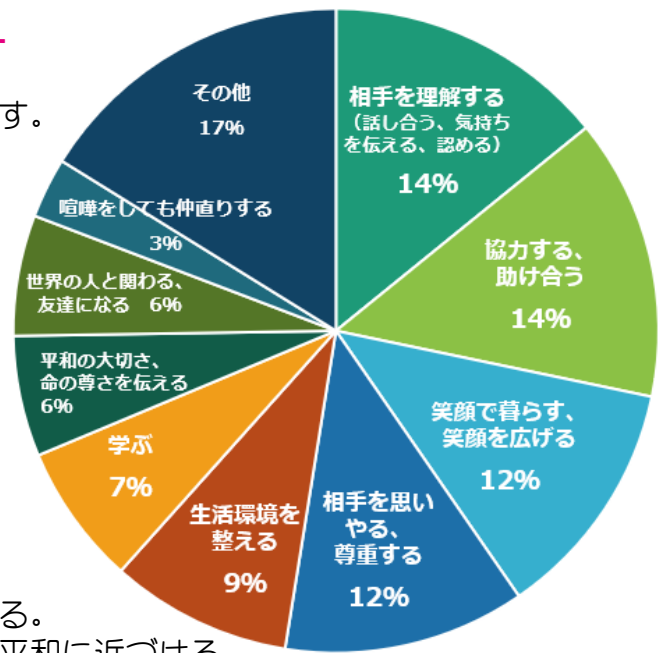
- 喧嘩が無い仲良く暮らせる世界
- 自由に友達とサッカーができる世界
- お互いに許し合えること
- 互いを思いやる心をみんなが持つこと
- 自分のやりたいことが自由にできる社会
- 多様性を受け入れ、自由が保障されていること
- すべての人が笑顔で心から楽しめる世の中



Q2. 世界を平和にするアイデアを教えてください

相手を尊重・理解して、助け合って笑顔で暮らす

- よく話し合ってお互いの気持ちを伝え合う。笑顔で暮らす。
- 命の尊さ、笑顔の大切さを伝え、たくさんの人に笑顔を届けていきたい。
- 互いを思いやる心を、国中に、世界中に広げる。
- 安全でおいしいものを食べると幸せになる。世界中の安全でおいしいものを見つけて皆に紹介する。
- 世界中の人の笑顔を撮って、世界中を平和にする。
- 何に対しても前向きに考えながら状況に向き合う。
- 肌の色や生まれた場所、性別で夢を奪われない、奪わない。互いに応援し合う。
- 国と国とが話し合い、お互いの意見を聞いて理解する。
- 身の回りの家族や友達に思いやりをもって接する。
- 自分と人との違いを認め合う。友達の良いところを見つけて伝える。世界中で友達を作る。
- 争いが起こった時どう解決するか、どちらも傷つかずに平和に近づける。
- 私たちが普通だと思っているこの暮らしや自分が生きていることに感謝する。



子ども世界平和サミット アンケート結果

<保護者の方への質問>

●参加にあたり、家族で協力したり、学校の協力はありましたか？（複数回答可）

- | | | | |
|--------------|-------|--------------|-------|
| ・家族で一緒に話し合った | 55.6% | ・家族で撮影を手伝った | 44.4% |
| ・学校の協力があつた | 11.1% | ・子どもの自主性に任せた | 33.3% |

●子ども世界平和サミットへの参加を通じて、子どもの成長を感じましたか？

- ・子どもがとても成長した 100%

●子ども世界平和サミットに参加させて良かったですか？

- | | | | |
|----------|-------|-------|-------|
| ・とても良かった | 55.6% | ・良かった | 44.4% |
|----------|-------|-------|-------|

<参加された子ども達への質問>

●参加して新たな学びや気付きはありましたか？

- ・あった 100%

●参加してみて、平和を創る事に関心や興味が湧きましたか？

- | | | | |
|------------|-------|-----------|-------|
| ・すごく興味が湧いた | 55.6% | ・少し興味が湧いた | 44.4% |
|------------|-------|-----------|-------|

●子ども世界平和サミットに参加して良かったですか？

- | | | | |
|----------|-------|-------|-------|
| ・とても良かった | 55.6% | ・良かった | 44.4% |
|----------|-------|-------|-------|

いろんな国の
こども達のこと知れて
楽しかったです。

みんないろんな気持ちで
平和を祈ってることが
嬉しかったです。

ドラゴンボール脚本家 小山高生様、宇宙飛行士 山崎直子様、経営コンサルタント・大ベストセラー作家 神田昌典様、7つの習慣翻訳・アメリカ経営コンサルタント ジェームス・スキナー様、プロバスケットボールチーム広島ドラゴンフライズの選手、3x3プロバスケット選手など、たくさんの方々に応援頂きました。



平和学習の教科書 漫画「キセキのヒロシマ」

戦後、精神面・生活面で奇跡的な復興を遂げたヒロシマ。

誰かを恨んだり、憎む心で停滞することなく、

恕す心で前を向いて生き抜いた、強く美しい女性たちの姿を漫画化し、平和学習の教科書にしました。

復興の歴史を学ぶことで、日本の文化を尊重し、それらをはぐくんできた先人と郷土を愛する心を養うとともに、進んで外国との関係や考え方の理解を通じて、他国を尊重し、

国際社会の平和と発展に寄与する心を養うことで、未来を拓く主体性のある子どもを育成致します。



日本語、英語、フランス語で出版。

国連公用語 6言語での出版と、平和学習の教科書としての採用を目指しています

これまでに、日本語、英語、フランス語にて出版して参りましたが、世界の子供達に読んでいただき、平和の創り方を伝えていくには、その国で使われている言語での活動が必要です。

まずは、多くの方が使う国連公用語6言語（英語、フランス語、アラビア語、中国語、ロシア語、スペイン語）にて出版致しますので、どうかサポーターになり応援いただきますようお願い申し上げます。

Amazon Kindleにて電子書籍を無料配信中

下記のQRコードより、どなたでも無料でお読みいただけます。授業でのご活用も大歓迎です。

※教育機関向けに書籍の無料貸出もごさいます。事務局までお気軽にご相談ください。

※書籍版はお求め頂くこともできます。※1,500円(税別)

日本語版



英語版



フランス語版



書籍購入用



お読み頂きましたら、5つ星レビューとシェアで応援をお願い致します！

オバマ大統領、キセキのヒロシマを読んで感動！

2016年4月14日、オバマ大統領広島訪問実現に向けて、駐日米国大使のキャロライン・ケネディ米国大使に、英語版のキセキのヒロシマを贈呈致しました。

すると、ケネディ米国大使から、「ワシントン（オバマ大統領）にも送ります」とお礼状を賜り、2016年5月27日に、オバマ大統領の広島訪問が実現致しました。

後日、オバマ大統領から、「あなたの物語に感動した」とお礼状を賜りました。



<オバマ大統領からのお手紙 日本語訳>

親愛なる多延子さん

私はあなたの物語に感動しました。

私は核兵器のない世界の実現への取り組みを再確認するために、広島を訪問しました。

私たちは、歴史を直視し、こうした悲劇を二度と再び繰り返さない様に、
私たちが何をすべきかを自問するという共通の責任があります。
被爆者によって設定された例を通して、私たちは戦争の力ではなく、
共通の人間性によって自分自身を定義することができます。
あの運命の日から、私たちは希望をもたらす選択もしてきました。
あなたの物語は、私達がどこまで来たかの証です。

より多くの人々が過去を理解し、思いやりを抱く時間があれば、
より明るい、より平和な将来が待ち受けていると確信しています。
あなたの物語を私と共有してくれてありがとう。あなたの人生に幸あれ。バラク・オバマ



AMBASSADOR OF
THE UNITED STATES OF AMERICA
TOKYO

April 21, 2016

Ms. Taeko Tada
Representative
Peace Piece Project
1-17-25 Deshio, Minami-ku,
Hiroshima-shi, Hiroshima 734-0001

Dear Ms. Tada:

Thank you so much for sending two copies of *The Hiroshima Miracle – Hiroshima is in the Pink*. I look forward to sharing them with my Embassy colleagues and guests. We will also send a copy to Washington. I appreciate your thoughtfulness.

The foundation of the U.S. Government's non-proliferation efforts is the clear understanding and recognition of the human consequences of the use of nuclear weapons. I was deeply moved by my visits to Hiroshima and Nagasaki and hope that these visits help to advance President Obama's goal of realizing a world without nuclear weapons.

Sincerely,


Caroline Kennedy

THE WHITE HOUSE
WASHINGTON

November 3, 2016

Ms. Taeko Tada
Hiroshima, Japan

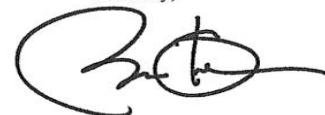
Dear Taeko:

Thank you for writing to Ambassador Kennedy. I am moved by your story.

I visited Hiroshima to reaffirm my commitment to working toward a world without nuclear weapons. We have a shared responsibility to look directly into the eye of history and ask what we must do differently to prevent such suffering from ever happening again. It is through the examples set by the hibakusha that we are able to define ourselves not by our capacity for war, but by our common humanity. Since that fateful day, we have made choices that give us hope, and stories like yours are a testament to how far we have come. So long as more people take the time to understand the past and embrace compassion, I am confident a brighter, more peaceful future lies ahead.

Thank you, again, for sharing your story with me. I wish you all the best.

Sincerely,



教育機関との連携

● 長野県松本市清水中学校 全校生徒367名との平和授業

＜平和授業の目的＞

子ども達に、突然、世界平和を実現するにはどうしたらいいの？と考えてもらう事は難しいけれど、「サッカー選手になる」「お笑い芸人になって皆を笑わせる」など、子ども達が想像できる形、自分のできる形で、夢を通して世界平和を創ったり、社会貢献をしていくイメージをつかみ、世界に目を向けることがゴール。特に、「平和」と「夢」というテーマは、この先どうやって社会で生きていけば良いかを子ども達に示すものとなります。同時に、生きること、生かされていることの大切さにも気付いてほしいと願い授業させて頂きました。



- 下関市教育委員会との連携で、下関市のすべての小・中学校72校での平和学習
- 山口県夢が丘中学校、山口県誠意小学校への訪問、平和授業



- 広島市立幟町小学校、広島市立中島小学校への訪問
- 岡山県朝日塾小学校と修学旅行事前学習、修学旅行当日のご案内
- 愛知県半田小学校への無料貸出、平和学習活用
- 三重県阿山中学校への無料貸出、修学旅行用の平和学習に活用



- 市長訪問、活動報告
- 広島市教育委員会との連携で、広島市内全小・中・高校216校図書館への寄贈
- 長野県伊賀市、神奈川県横須賀市教育委員会を通じて各市内の小・中学校に寄贈
- 長野県須坂市を通じて市内の小・中学校、図書館に寄贈



下関市教育長 児玉典彦氏



広島市教育長 糸山隆氏



広島市元教育長 尾形完治氏

● その他、寄贈、活用実績

- ・ 広島市経済観光局観光政策部との連携で、修学旅行生の平和学習資料として600冊寄贈
- ・ 広島市経済観光局観光政策部を通じて、教育機関に電子書籍や学習用PDFの提供
- ・ 関東学院大学の学生との平和教育ディスカッション
- ・ 広島市内の図書館12館に設置
- ・ 国立国会図書館
- ・ ニューヨーク市立図書館
- ・ ニューヨーク日本語補習校I校
- ・ 東京国際フランス学園
- ・ 京都国際フランス学園
- ・ パリ インターナショナルスクール
- ・ EIBビクターヒューゴスクール（フランス・パリ）
- ・ マゴソスクール（ケニア孤児院）
- ・ NPO法人セブンスピリット（フィリピンのストリートチルドレン支援施設）

他多数

小学5～6年生の子ども達からのご感想

戦争を知らない子ども達が、本を読みながら、自分なりに思いを巡らせ、素直な気持ちを綴ってくれました。ほんの一部ではございますが、抜粋してご紹介致します。このストーリーを、多くの言語で翻訳・出版し、世界の子ども達に平和の創り方を伝えて参りたいと思っています。

キセキのヒロシマ読みました！

「こんなところが良かったよ！」
「平和のために、こんなことを始めてみようかな？」
思ったこと、考えたことを、本の原作者に伝えてみよう！

広島に原爆を落したアメリカ人を私も最悪だ」と思いました。6年生のときの修学旅行で原爆坑についていろいろ学びました。でも、この本を読んで「原爆戦争が悪いのか」とはわかりませんでした。人間を殺すという行為は許さずせんか？と私れも、そればかり道を歩むという大切な道が、1番入るべきところではないかと私は。私は一番心に残ったのは、おばあさんのひいおばあさんがよく言う、「つくき音楽を聴く時間は進んでいくけど、自分を待たなくていいよ」。懐かしと憎しみという感情は捨てる、それが大きな心の壁のどつめに行動していきなさい。これが、前向きに人生を送るための秘訣かな？と私は思いました。私のひいおばあさんは広島県佐々木市にはありませんが、戦争がまだ一人です。ひいおばあさんは今年まで何月ですか？自分ごころを食べるまでは、食前に、長い時間手を合わせて感謝をし、食後も食前に同じようにしています。毎日毎日それを続け、13年ほどは心を感謝しました。その姿が大変なさんひひいおばあさんに奪り、とても印象に残りました。私がこうにしてきているのは当たり前ではないこと、当たり前と感ぜてははいけなく感じました。ひいおばあさんのおかげで感謝の心を毎日常顔をこころにうけています。

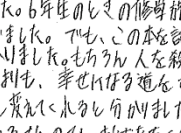


イラスト
大塚望子



私が一番心に残ったのは、
たえ子さんのひいおばあちゃんがよく言っていた言葉です。

時間は進んでいくばかりで、自分を待ってはくれない。
恨みや憎しみという感情は捨て、
幸せになるために生き延びるために行動しなさい。
これが前向きに人生を送るための秘けつかなと思いました。

私のひいおばあちゃんも、戦争にあった一人です。
ひいおばあちゃんは今年亡くなりましたが、
自分でご飯を食べれるまでは、食前に、
長い時間手を合わせ深々と礼をし、
食後も食前と同じようにしていました。
毎日毎日それを続け、いろんなことに感謝していました。
その姿がたえ子さんのひいおばあちゃんと重なり、
とても印象に残りました。

ひいおばあちゃんのように
感謝を忘れずに毎日笑顔で過ごしていこうと思います。

キセキのヒロシマ読みました！

「こんなところが良かったよ！」
「平和のために、こんなことを始めてみようかな？」
思ったこと、考えたことを、本の原作者に伝えてみよう！

この本を読んで原爆案に大変変わった。広島についてよくわかりました。原爆資料館では原爆の数々を見てやけどをおった人たちの写真を見てきたがカッパがささった服など原爆のおとした悲惨さが説明されておもしろい資料館に行くと暗いイメージがのこっています。しかしこの本を読むと、広島の人たちはどのようにして今の明るい広島を作ったかが書いてありとても夢中になりました。その中でも、2月3日で原爆が悲劇にたちまち駆けあつて広島の人たちは強いと思います、すごいなと心を動かされまして、2巻の原爆イメージがでる人たちのおかげで、今の広島があるのだと思ひました。その中でも、戦争で憎んで外国を憎んでいる人という言葉がとても心に響きました。この本のおかげで、戦争が怖くおどろく感じがしました。そして、今から原爆の悲劇にも負けず、明るい心をもちた街にしたいと思ひました。これが、世界全体が。

平和とあるために、許す心を大切にしようと思ひました。

イヌシロ 大歓迎!



原爆資料館では、原爆の熱線でやけどを負った人たちや、爆風で飛んできたガラスがささった服など、原爆が起こした悲惨さしか説明されておらず、資料館に行っても暗いイメージしか残りませんでした。しかし、この本を読むと、広島の人たちがどのようにして今の明るい広島をつくったかが書いてあり、とても夢中になりました。

その中でも、2～3日で原爆の悲劇に立ち向かい、助け合っている広島の人たちは強いな、すごいな、と心を動かされました。

「戦争は憎んでも人や国を恨んではいけません」という言葉がとても心に響きました。この考えが世界を平和にするのだと感じました。これから世界全体が平和であるために、恕す心を大切にしようと思いました。

さんは、タコが7歳の時に、いおはあ5年の^{おと}に
 平和とは何かを聞いて、「平和とはいおはあ5年
のことで、戦争はおどろおどろしく、
時間」と、今は平和と言っている場面が、とても好きと
 する方が多い。それは、平和と戦争の境目に気づいて、そこを平和
とせず、でも戦争がない今でも、差別があつた、、いろいろ
 いひの世界で生きて、苦しんでいる人がたくさんいて
このことを言わねえ、となれないことに悲しいことがあつても、
前向きな気持ちを持つて、何事にもなつて、いいこと
自分や周りの人のためにのようなことを勉強してた、して
思ふ人の気持を変えてくれるような平和な未来と
 信じた。この本を読んで、とても感銘を受けた。

今は、戦争の時に比べてとても平和です。
でも、戦争がない今でも、差別があったり、
いろいろないじめが世界中であって苦しんでいる人たちがいます。
この本は、どんなつらいことや悲しいことがあっても、
前向きな気持ちをもって何事にも打ち勝っていくという
自信や勇気などのアドバイスのようなものを教えてくださいました。
この本を読めてとても良かったです。

キセキのヒロシマを読まれた子ども達が描いてくださったポスター



フィリピン・セブ島のストリートチルドレンの子どもの感想



何がおこったとしても、他の人を憎まず、
前を向いて幸せな人生を歩いていきなさい」
のシーンが大好きです！

My favorite scene is when Taeko
and her mother talking and Taeko's
mother said that, no matter what
happens, you won't hate other people
you'll move forward and make
your life a happy one!. I like
it very much.

この他にも、「生きる大切さについて知りました」、「人の温かさや、
前を向き進む力についても深く考えることができました」、
「これから自分はどのようにしていくべきか、どうすればいいのかをきちんと考えて生きていきたい」
など、子ども達が平和について純粋な想いで感想をくださっています。

この活動の輪を広げ、世界平和を実現する子ども達を育てて参りますので、
どうか応援サポーターに登録いただき、継続的な応援をいただきますようお願い申し上げます。
サポーター登録はこちら：<https://peacepieceproject.com/cooperate/>

要人、国際機関への寄贈実績、講演実績

【要人への寄贈】

- ・ノーベル平和賞受賞 第44代アメリカ大統領 **バラク・オバマ**様
- ・キャロライン・ケネディ元駐日米国大使
- ・アラブ首長国連邦王族関係者 **アリ・アル・マダニ**様
- ・国連開発計画(UNDP) アルメニア駐在員 **ドミトリー・マリヤシン**様
- ・国際女性商工連盟(IWFCI) 創始者 **ダイアナ・R・アブルツツィ**様
- ・世界女性企業家協会(FCEM) 世界代表 **マリー・クリスティーヌ・オグリ**様
- ・フランス語圏の25か国の大使館（フランス、ジブチ、カメルーン、コートジボワール、ギニア、アルジェリア、カナダ、モロッコ、ベナン、ガボン、ブルキナファソ、レバノン、コンゴ共和国、モーリタニア、セネガル、チュニジア、ルクセンブルク、ベルギー、ルワンダ、マリの特命全権大使及び、スイス、トーゴ、マダガスカル、コンゴ民主共和国、ハイチの臨時代理大使宛）、他多数



オバマ様妹君
ハワイ大学 平和学研究者
マヤ・カッサンドラ・ストロ様



モナコ公国プリンセス
キャサリン・コロンナ・
デ・スティリアーノ様



駐日フランス大使
ローラン・ピック様

【講演実績】

世界女性企業家協会(FCEM)世界大会 inロシア、
マケドニア共和国「マザーテレサ記念館」主催 マザー・テレサ写真展、
パイロットインターナショナル日本ディストリクト、公益社団法人経済同友会「同友クラブ」、
L.B.A.女性企業家協会、広島経済活性化推進倶楽部、一般財団法人お好み焼きアカデミー、
東京都倫理法人会港区、東京都倫理法人会中央区、上野倫理法人会、KKC、
広島東南ロータリークラブ、広島安佐ロータリークラブ、
広島ハワイ友好提携締結20周年記念 第1回広島ハワイ次世代ビジネスリーダーズ・プログラム
(ハワイ州・ホノルル日本人商工会議所、広島県・広島商工会議所主催)、 他多数



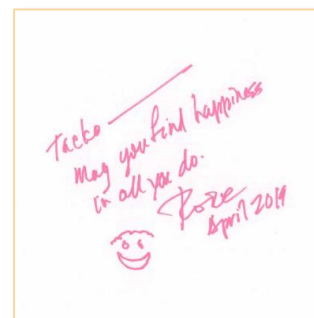
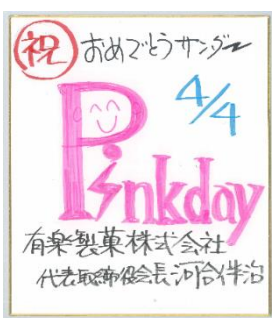
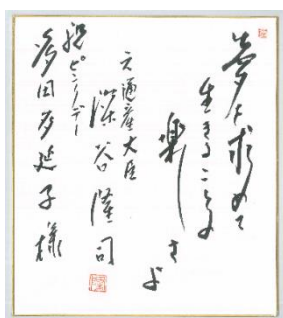
ピンクデー制定、ピンクパーティー主催

ピンクを贈り しあわせを分かち合う記念日 「Pink Day®」を制定

世界中で幸せになる人を増やしたい
という想いで、ピンクデーを制定致しました。

毎年4月4日は、Pink Day®
ピンクを贈り、幸せを分かちあう日です。
※一般社団法人日本記念日協会認定

▼ 設立のお祝いメッセージ色紙抜粋



ピンクパーティー開催

2019年4月4日、第1回目のPink Day®を記念して、
ザ・リッツ・カールトン東京にて、
ピンクに囲まれたラグジュアリーなパーティーを開催し、100名の皆様にご参加いただきました。



メディア掲載・出演

日本テレビ「マツコ会議」、TBSテレビ「その他の人に会ってみた」、共同通信、ジャパントゥームス、中国新聞、毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、伊勢新聞、月刊ウェンディ広島、経済レポート、NHKラジオ第1、RCCラジオ、FMはつかいち、月刊経営誌「理念と経営」、子どもの心を育てる良書目録（広島市こども図書館発行）、チャレンジ5年生「未来発見ブック」（ベネッセコーポレーション発行）他多数

13版S 2020年(令和2年)6月30日(火) 第1 広島 24 2019年(令和元年)10月30日(水) 13版S 第1 広島 24

カンナの花 結んだ平和の願い



活動団体に協力の縁で

「キセキのヒロシマ」原作者 須坂市に漫画本



「キセキのヒロシマ」原作者 須坂市に漫画本
須坂市に漫画本「カンナの花」が、多田多延子さんの「キセキのヒロシマ」の原稿を基に、須坂市に漫画本として出版された。この漫画本は、須坂市に漫画本として出版された。この漫画本は、須坂市に漫画本として出版された。



曾祖母モデル 被爆後の復興描いた漫画

「キセキのヒロシマ」伝説で



「キセキのヒロシマ」伝説で
「キセキのヒロシマ」伝説で
「キセキのヒロシマ」伝説で

2017年(平成29年)11月6日(月)



ピンクの社長に届いた手紙



「In the pink」という意味だ。多田多延子さんは言う。私も広島県「In the pink」でありたいです。多田多延子さんは言う。私も広島県「In the pink」でありたいです。

2014年(平成26年)7月9日(水曜日) 第1 広島 24

漫画で描くヒロシマ復興



「キセキのヒロシマ」伝説で
「キセキのヒロシマ」伝説で
「キセキのヒロシマ」伝説で

2014年(平成26年)7月14日(月曜日) 第1 広島 24



増祖母の前向き人生5巻に



「Zenzumoto no Maemuki Jinsai 5」
「Zenzumoto no Maemuki Jinsai 5」
「Zenzumoto no Maemuki Jinsai 5」

2016年3月、“The Hiroshima Miracle”（英語版「キセキのヒロシマ」）出版が
ジャパントイムスや共同ニュース等、海外メディアに掲載

KYODO NEWS
Japan's Leading News Network
AROUND THE GLOBE, AROUND THE CLOCK

Site Archive Articles Photos

Search

May 31, 2016 10:14

Home All headlines Photos RSS

Obama's historic visit to Hiroshima South China Sea United Nations (Fully Accessible) Japan-China N
Opinion Pieces (Fully Accessible) Video Advisory

Politics Economy / Business Society Sports Asia Entertainment Travel / City Life

CATEGORY Focus / Feature

PAGE BACK

Read It Later Mail Share Print

Not a subscriber? See options available. >

10:08 28 May 2016

FEATURE: Women's resilience takes the stage in manga of A-bomb survivor's kin

By May Masangkay
HIROSHIMA, May 28, Kyodo

The horrors of the world's first atomic bombing in Hiroshima are often captured in black and white photos of the devastated western Japan city and images of survivors' scars.

But Taeko Tada, whose mother survived the U.S. atomic bombing on Aug. 6, 1945, at the age of 5, has a different take on the tragedy, as her self-published manga focuses on the happier faces of women who let go of their pain, decided to forgive and helped rebuild the city.

In her book entitled "The Hiroshima Miracle: Hiroshima Is in the Pink!" Tada, 47, uses the color pink on its cover and title to reflect her desire to depict the atomic-bomb survivors' tales as one that brings hope and joy to people. Pink is her favorite color which represents joy.

To have fuller access to the Kyodo News website, it is necessary to subscribe. We offer a broad range of subscription options depending on your needs. [Learn more.](#)



NATIONAL

Manga shows Hiroshima survival as one of joy

By May Masangkay
HIROSHIMA

HIROSHIMA — The horror in post-bombing Hiroshima is captured in black-and-white photos of the city and its beleaguered survivors.

But Taeko Tada, whose mother survived the U.S. atomic bombing at the age of 5, has a different take on the tragedy. Her self-published manga focuses on the happier faces of women who let go of their pain, decided to forgive and helped to rebuild the city.

"The Hiroshima Miracle: Hiroshima is in the Pink!" uses the color pink on its cover to depict the hibakusha experience as one of hope and joy.

"I wanted people to know more of the brighter side of Hiroshima, that this city is in the pink and filled with happiness as a result of efforts by women like my great-grandmother to rebuild the city after the atomic bomb," said Tada, 47, a representative of the Hiroshima-based Peace Piece Project.

"Hiroshima is not just an atomic-bombed city with a sad history but also with a story of rising above the tragedy. I wanted to retell the stories of women who struggled and played key roles in reconstruction efforts and how women forgave and helped each other."

Tada's great-grandmother lost her daughter-in-law at age 56 due to the effects of the atomic bomb and raised Tada's mother alone.

Tada released the manga in Japanese in five booklets last year, to mark 70 years since the end of World War II. It was printed in English in March and will be available on iBooks.

The book was sent to American Ambassador Caroline Kennedy, who in April wrote a letter of thanks. Kennedy said a copy will be sent to Washington.

In her letter, Kennedy said she was "deeply moved" by her visits to Hiroshima and Nagasaki, and said she hopes the visits will "help to advance President [Barack] Obama's goal of realizing a world without nuclear weapons."

Tada said she was "very touched" by Obama's speech during his historic visit Friday to Hiroshima as the first sitting U.S. president to do so, especially since he mentioned a story about forgiveness, a theme that reverberates in her manga.

In his address, Obama spoke of a woman who forgave the pilot who flew the plane that dropped the bomb "because she recognized what she really hated was war itself."

Tada's 172-page book features her great-grandmother's ordeal in the aftermath of the bombing. Tada said she was very young when her great-grandmother died but vividly recalls her inspiring words about how it is better to forgive than to be stuck in the past.

The manga also features the story of a mother who cheered on a struggling baseball team in Hiroshima in honor of her son and a woman who was known as one of the "Hiroshima Maidens" invited to the United States for reconstructive surgery.

Recounting her experience in high school, Tada said she was shocked when, as a volunteer guide for foreign visitors, she was asked if the people in Hiroshima still hated Americans.

"[The] atomic bombing is a serious subject and sometimes discourages people to come here. People feel heavy after touring through the Peace Memorial Park and other atomic bomb-related sites," she said.

She said her manga received positive feedback from atomic bomb survivors, who thanked her for sharing sentiments they could not quite articulate.

"We cannot live in the past. We cannot change what happened," Tada said. Her message is to live toward the future: "This is the Hiroshima I want people to know."

APRIL 2016
WITELSA HANDBOOK
PRINT GO SHARE

PHOTOS
CLICK TO ENLARGE

NETWORKS

ATOMIC BOMBING, HIROSHIMA, OBAMA'S HIROSHIMA VISIT, TAEEKO TADA

NATIONAL

Schools take in Tokyo
mosque to get
turbulent glimpse of
Islam

Mining Hokkaido hits
7, feared after
hungry in last on SDF
base

Shimane city marks
75 years since Japan
Peak disaster

Count down anti-Korean
group from building
Kawasaki hate speech
daily Sunday

ALL THE NEWS WITHOUT FEAR OR FAVOR

1958 1959 1960 1961 1962 1963 1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016

Activate Free Your Digital Access

Mr. James L. Carter

The Japan Times

INCORPORATING

International New York Times

Friday, June 3, 2016

Subscription: ¥210

Manga seeks to counter gloomy stereotypes Hiroshima survival one of joy, artist says

May Masangkay
Hiroshima
KYODO

The horror in post-bombing Hiroshima is captured in black-and-white photos of the city and its beleaguered survivors.

But Taeko Tada, whose mother survived the U.S. atomic bombing at the age of 5, has a different take on the tragedy. Her self-published manga focuses on the happier faces of women who let go of their pain, decided to forgive and helped to rebuild the city.

"The Hiroshima Miracle: Hiroshima is in the Pink!" uses the color pink on its cover to depict the hibakusha experience as one of hope and joy.

"I wanted people to know more of the brighter side of Hiroshima, that this city is in the pink and filled with happiness as a result of efforts by women like my great-grandmother to rebuild the city after the atomic bomb," said Tada, 47, a representative of the Hiroshima-based Peace Piece Project.

"Hiroshima is not just an atomic-bombed city with a sad history but also with a story of rising above the tragedy. I wanted to retell the stories of women who struggled and played key roles in reconstruction efforts and how women forgave and helped each other."

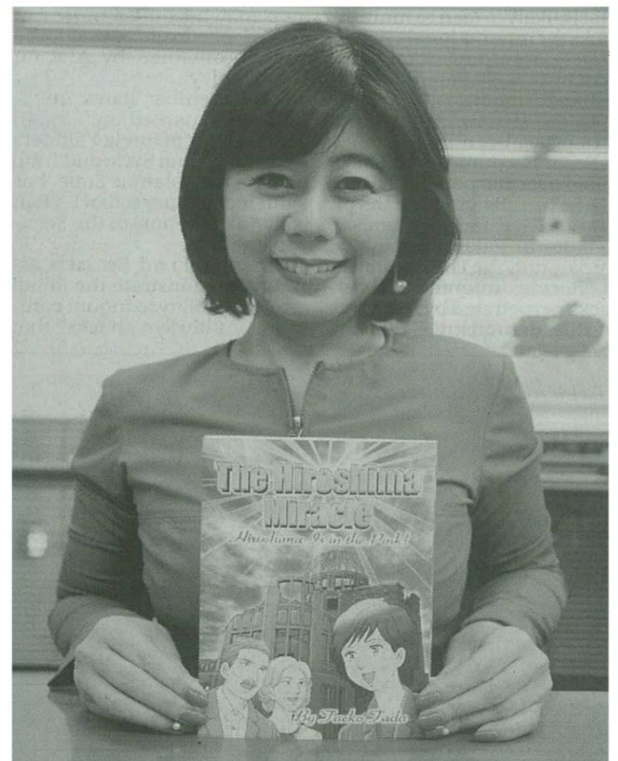
Tada's great-grandmother lost her daughter-in-law at age 56 due to the effects of the atomic bomb and raised Tada's mother alone.

Tada released the manga in Japanese in five booklets last year, to mark 70 years since the end of World War II. It was printed in English in March and will be available on iBooks.

The book was sent to American Ambassador Caroline Kennedy, who in April wrote a letter of thanks. Kennedy said a copy will be sent to Washington.

In her letter, Kennedy said she was "deeply moved" by her visits to Hiroshima and Nagasaki, and said she hopes the visits will "help to advance President [Barack] Obama's goal of realizing a world without nuclear weapons."

Tada said she was "very



Taeko Tada holds a copy of the manga she wrote about women who survived the atomic bombing, seen on May 25. KYODO

touched" by Obama's speech during his historic visit Friday to Hiroshima as the first sitting U.S. president to do so, especially since he mentioned a story about forgiveness, a theme that reverberates in her manga.

In his address, Obama spoke of a woman who forgave the pilot who flew the plane that dropped the bomb "because she recognized what she really hated was war itself."

Tada's 172-page book features her great-grandmother's ordeal in the aftermath of the bombing. Tada said she was very young when her great-grandmother died but vividly recalls her inspiring words about how it is better to forgive than to be stuck in the past.

The manga also features the story of a mother who cheered on a struggling baseball team in Hiroshima in honor of her son and a woman who was known

as one of the "Hiroshima Maidens" invited to the United States for reconstructive surgery.

Recounting her experience in high school, Tada said she was shocked when, as a volunteer guide for foreign visitors, she was asked if the people in Hiroshima still hated Americans.

"(The) atomic bombing is a serious subject and sometimes discourages people to come here. People feel heavy after touring through the Peace Memorial Park and other atomic bomb-related sites," she said.

She said her manga received positive feedback from atomic bomb survivors, who thanked her for sharing sentiments they could not quite articulate.

"We cannot live in the past. We cannot change what happened," Tada said. Her message is to live toward the future: "This is the Hiroshima I want people to know."

海外での活動

モナコ公国夏の舞踏会(王族主催)、世界女性起業家協会(FCEM)世界大会、IWFCI(国際女性連盟)、世界女性CEOサミット、フィリピン・ストリートチルドレンの学校 他多数



フィリピン・セブ島のスラムの子ども達に文具寄贈



タイのプラユット首相に活動報告



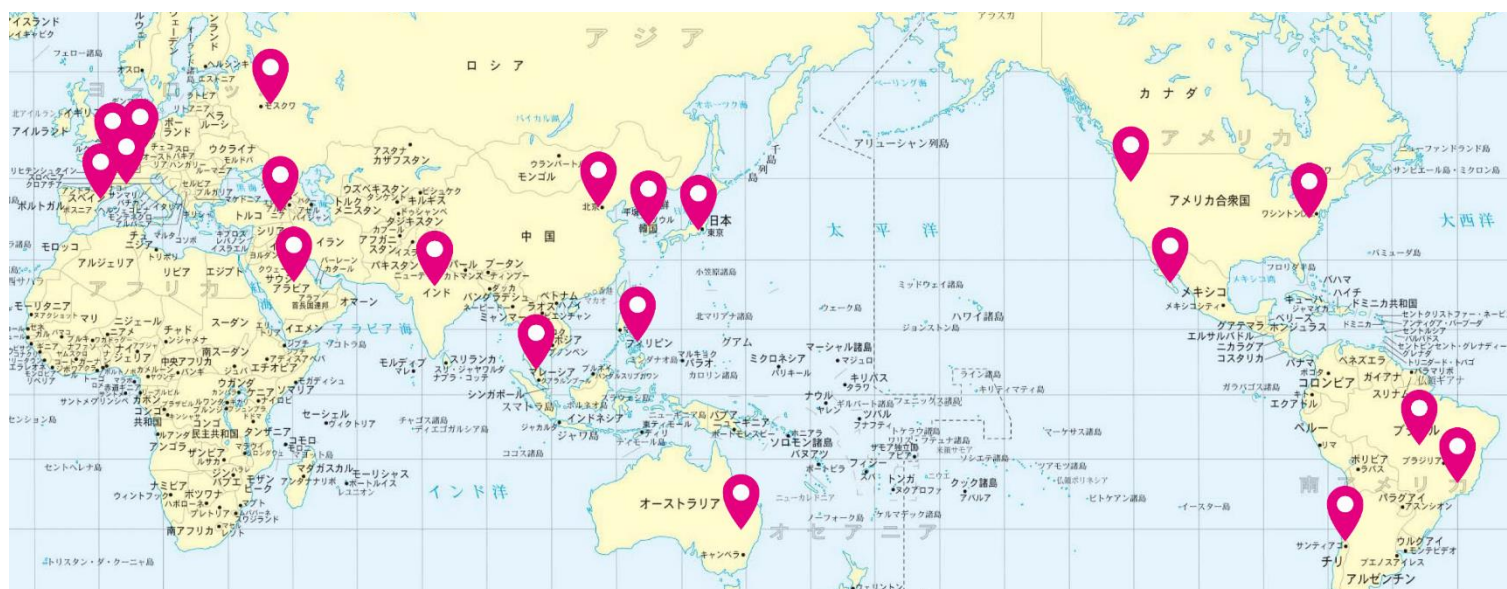
120か国加盟の女性起業家協会の世界大会にて活動報告



モナコの女性起業家に活動報告

2019年、地球を2周し、19か国4大陸を訪問

アメリカ（ニューヨーク、ヒューストン、サンフランシスコ、ポートランド）、フランス（ニース、サン・トロペ）、モナコ公国、ドイツ（ミュンヘン）、オランダ（アムステルダム）、ベルギー（ブリュッセル）、ロシア（モスクワ、サンクト・ペテルブルグ）、オーストラリア（メルボルン）、ブラジル（カンポ・グランデ、サンパウロ）、アルメニア（エレバン）、カタール（ドーハ）、チリ（サンティアゴ）、メキシコ（ロス・カボス）、フィリピン（セブ島、ボラカイ島）、シンガポール、韓国（釜山）、タイ（バンコク）、中国（北京）、インド（デリー、ウダイプル）



ピースピースプロジェクト サポーター

ピースピースプロジェクトは、10代を中心とした子ども達と一緒に世界平和の創り方を学び、青少年の平和を創る力を養う活動を国内外で推進する一般社団法人です。
皆様からのご寄付は、下記の活動をはじめ、平和を創る子ども達を育て、子ども達との平和学習を推進するピースピースプロジェクトの活動継続に大切に活用させていただきます。

- 子ども世界平和サミットなど、平和を創る子ども達を育てるイベント開催費
- 子ども達との平和学習に係る、出版費用、学校訪問にかかる費用
- 海外、国内での講演、イベントにかかる費用

裏表紙に記載のサポーターにご登録いただき、私達ピースピースプロジェクトの活動を応援頂けましたら光栄でございます。

と一緒に、子ども達との平和学習を推進し、世界平和を実現して参りましょう。
皆様のサポーター登録とあたたかい応援をお待ちしております。



2020年度 ピースサポーター様

応援企業（敬称略）

医療法人社団秋月会
エネアース株式会社
株式会社tabekifu

オーシャンキッズクリニック
株式会社サンギョウサプライ
株式会社ティーエスピー

株式会社山一商事
三恵不動産株式会社

応援者（敬称略・順不同）

比嘉謙介	明山友美	尾山謙二郎	城麻里奈	板橋理恵	渡辺玲子	福元智子	森田真樹
田崎秀和	早川和志	高木芳郎	成松波恵	黒木弘美	塩田恭子	向井優子	大盛敬子
助川健	福澤祐樹	永井真人	植松瞳	日比将人	田口美智子	田嶋加代子	安倍勇作
多田寛子	吉田就彦	菅原佳耶	磯貝知美	松岡朋子	加藤美和	小林真由美	
岡部優	松田清香	新岡こず恵	松岡督明	深谷隆司	西原宏夫	野呂洋子	
倉秀人	河合拓志	田中洋子	石山勝則	柳生輝明	星空パルン	白坂亜紀	
中野豪大	山下江	上田佳苗	坂本成章	西浦みどり	兼元謙任	吉松ころろ	
佐々木守	前所麻里江	堀岡ゆっこ	森田誠司	大西基文	くるみさわしずえ	影山順司	



ピースピースプロジェクトは
平和を創る子ども達を育て世界平和を実現します

すべての活動は、国連が推進する人間、地球及び繁栄のための行動計画「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献しています。



PEACE
PIECE
PROJECT

ピースサポーター募集

あなたも子ども達の平和学習を応援しませんか？

ピースサポーターとは、
子ども達の平和学習を支援するピースピースプロジェクトの活動をご寄付で応援サポートいただく会員様のことです。
サポーター会員の方には、最新の活動情報、特別なイベント情報などをお届け致します。

世界の2億5000万人の子ども達が安心して暮らせる地球を創るには、多くの理解者や応援者が必要です。
どうか皆様一人ひとりの継続的なご寄付をお願い申し上げます。



個人サポーター 月会費：1口 1,000円（1日33円）から

クレジットカードまたは銀行引落でのサポーター会費のお支払いが可能です。
下記URLまたはQRコードからアクセスし、ご登録ください。

<https://peacepieceproject.com/cooperate/join-us>



法人サポーター 詳細は、事務局までお問い合わせください。

法人サポーター様の特典例

- ①ピースピースプロジェクトから法人サポーター様に感謝状贈呈（額入り）
- ②法人Webサイトへのピースピースプロジェクトのロゴ使用の権利（商用使用を除く）
- ③下記表現など、法人Webサイトへの使用の権利

「私たちは世界平和を創る子ども達を育てるピースピースプロジェクトの活動を応援しています」等



● ご寄付（銀行振込）での応援も受付しております

任意の金額のご寄付にて活動を応援頂けます。

※ピースピースプロジェクトの活動のお報せをご希望の場合、
下記の事務局のメールアドレスまたはFAXに

- ①振込日時・金額、②氏名、③住所、④電話番号、⑤メールアドレスをお送り下さいませ。

【事務局】 Mail : info@peacepieceproject.com FAX : 082-253-0548

● お振込み先

【銀行名】 ゆうちょ銀行 【店名】 一三九（イチサンキュウ） 【店番】 139

【口座番号】 当座 0104239 【口座名義】 一般社団法人ピースピースプロジェクト

一般社団法人ピースピースプロジェクト（英語表記 Peace Piece Project）

広島県広島市南区出汐1-17-25

[Mail] info@peacepieceproject.com [HP] <https://peacepieceproject.com/>

[Tel] 082-253-0693 ※平日 9:00~18:00

平和を創る子ども達を育て、子ども達が安心して暮らせる地球を創る

